

新型コロナウイルスで始まった 中学校の遠隔学習

2020年2月末、新型コロナウイルス感染拡大防止策として、日本政府は全国の小中高などに臨時休校を要請しました。IT活用が進んでいない日本の学校では教育が止まる事態となりましたが、シリコンバレーの学校では、教育は維持できたのでしょうか。

INTEC Innovative Technologies USA, Inc.
Director, Chief Operating Officer
坂田繁明

📍 公立中学校の教育プラットフォーム

シリコンバレー地域では連邦政府に先駆けて「外出禁止令」が発令され、3月17日から学校も休校となりました。

INTEC Today vol.7でもご紹介しましたが、シリコンバレーの公立中学校では、2015年頃からGoogleの「G Suites for Education」を標準導入しており、デジタル教育の仕組みが確立されています。先生も生徒も普段からiPadを利用し、「Google Classroom」を使って宿題の配布や提出を行っています。今回は、日本と同じく突然休校になった状況での、シリコンバレーの教育システムの実態についてご紹介したいと思います。

3月24日、州教育委員会から遠隔学習開始の通知が届き、翌日から遠隔学習が始まりました。もともと「Google Classroom」が導入されていたとはいえ、休校から1週間で開催というスピードは、さすがシリコンバレーといえるでしょう。この短期間のうちに、生徒が登録すべき時間割、

学校が提供するオンライン教材の説明、デジタルコンテンツを使うに当たっての注意点など、盛り沢山の資料が準備されたことは、とても行き届いた対応に見えました。実際、これらの手引きによって、息子はスムーズに遠隔授業を始める環境を整えました。

📍 充実した学習環境と健康ケアの裏側で

学校が準備してくれた資料の中には、1日のサンプルスケジュールもありました。朝は8時に起きて夜は9時に寝ましょうなどと、模範的なタイムテーブルが提示されています。

さらに、市の教育委員会によって、生徒たちの健康を気遣った？ 無料の給食サービスまで始まりました。アメリカの学校には給食がなく、基本的に子どもは家からお弁当を持って行くのですが、今回の措置は、指定の時間に学校へ行くと、ドライブスルー形式で給食を受け取ることが



休校中に支給された給食。左から1日目、2日目、3日目

できるというものです。せっかくなので、1週間もらってくることにしました。

毎日出るのが日本と同じく牛乳と、チョコレートチップクッキーでした。なるほど、このクッキーは日本人のSoul food「おにぎり」に相当するのかもしれませんが。残念ながら息子はおにぎり派だったため、3日間だけありがたくいただきました。

学習環境が整い、健康ケアまで考えてもらい、息子はさぞかし快適に自宅学習に取り組めるかと思ったのですが、そう上手く事は運びませんでした。連日深夜2時まで課題に取り組み、朝は起きられず生活は乱れる一方です。聞けば、Zoomなどを利用して教室と同じように授業が行われると思っていたのですが、実際には週1回のクラスルームが1時間オンラインで行われ、あとは出た課題を1人でこなして提出するだけだと言うのです。

休校前の授業では、先生が課題を解く考え方を説明し、課題が出て、その後にレビューと説明があったのですが、いまは説明してもらっていた部分を自分で対応しなければならず、理解に時間がかかっているようです。オンラインで先生に相談することもできますが、自分で頑張ろうとして翌日にシワ寄せがくるという悪循環に陥り、週末も課題に追われています。高校では毎日Zoomなどでオンライン授業をしていると聞いていますが、中学はオプションとのことでした。

さらに驚いたのが、音楽の課題を提出したにもかかわらず、未提出扱いで落第になった時のこと。なんと先生が提出物の格納場所を間違っており、誰も提出してこないと勘違いして全員に落第をつけてしまったそうです。音楽の先生はこれまでGoogle Classroomで課題を出したことがなく、システムを理解していなかったという顛末でした。

📍 迷わず運用できるかが成功のカギ

今回の突然の休校で浮き彫りになったのは、どれだけテクノロジーが進化して、システムや仕組みは至れり尽くせりに見えても、運用するのは私たち人間だということです。私はインテックの社員として高性能なシステムをお客さまに提供する立場にありますが、使う人が迷わず運用できるようにしておかなければ、便利なシステムも機能しないという状況を普段から目の当たりにしています。

遠隔学習で使われているリモートアクセスのLogMeIn、進捗管理のMoodleなどと同じようなツールは、働き方改革にも欠かせないものです。導入する企業は増えていると

カリフォルニア州教育委員会が新型コロナ後に導入した遠隔学習のための教材一覧

導入されたシステム/サービス	費用負担
1. オンラインシステムとプラットフォーム	California Emerging Technology Fund (CETF: カリフォルニア先端技術基金)
Google Distance Learning Options	
Google Classroom for Continuation of Learning	
Microsoft Teams - Office 365 A1	
Free Zoom Licenses	
Free Microsoft and Google Video Conferencing Options	
Free Access to Google Hangouts Meet	
Webex personal account	
LogMeIn Remote work kits	
Moodle Free Open-Source Learning Management System	
2. 州や各地区が提供する教材	
CA State library database	
Free access to University of California A-G Online high school course	
3. オンライン授業のためのツール	
Share My Lesson	
Remind	
Screencastify	
Socrative	
NearPod	
Spiral	
BookBub	
Edmodo	
EduLastic	
Open Textbook library	
Project Gutenberg	
Tes Teach online lesson builder and assessment tool	
LiveBinders Collaboration and Assessment tool	
4. 遠隔学習で困ったときのサポート	
Can Do! Kids!	
The Special Student Services Blog by Juanita Pritchard	
5. 遠隔学習をより深めるための情報	
Center for collaborative Education	
Edutopia Free Is Good - Open Education Resources	
Edutopia Teaching with Web - Based resources	
Edutopia Harnessing the Power of YouTube in the Classroom	
The EduBlogger	
6. 各教科ごとのデジタル教材	
English Language Arts 10システム	
Mathematics 7システム	
Writing 5システム	
Science 14システム	
Physical Education 5システム	
History and Social Science 30システム/サイト	
Distance Learning 自習のための43システム	
Online Learning Resources and Tools 18システム	

と思いますが、提供する側はしっかり運用方法を提示できているでしょうか？在宅勤務に切り替わったとき、同じような混乱は起こりえないでしょうか？

IITでは、今後も次世代プラットフォームの開発・提供を行っていくとともに、使う立場の人間に優しい仕組みづくりや運用者の育成にも注力したいと考えています。